

別表：CPD 認定対象プログラム内容と CPD 単位数 [簡易版]

申請（実施報告の提出）が必要な CPD 単位数は、該当年度内（4 月～3 月）に土壌医ネットワークの単位申請コーナーから報告してください。

形態区分		内 容	CPD 単位数	申請 (実施報告の提出)	
I	研修会等へ参加	土壌協会や土壌医の会が実施する研修会・講演会等に参加（関係団体の実施も含む）	1 単位／時間		
II	技術指導（講師担当）	土づくり関係の技術普及を目的とした研修会や講演会等の講師やパネラー （上記の「形態区分 I」で講師を行った場合は、個人での CPD 申請は不要）	3 単位／時間	必要	
III	土づくり普及活動 ※土壌医の会専用のプログラムです	1. 土づくり普及のため、土壌医の会の会員以外の方を主な対象とした研修会の講師 （対象が農業高校、農業大学校の場合は 5 単位／時間）	4 単位／時間	※会で必要	
		2. pH 等測定・診断相談会の指導	4 単位／回		
		3. 現地圃場の土壌調査・測定を通じた農家等への診断指導	5 単位／回		
IV	土づくり関係の雑誌、 報告文、刊行物等への 執筆掲載	1. 土壌協会が発行する雑誌「作物生産と土づくり」への執筆掲載	5 単位／件	必要	
		2. 地方自治体、民間団体、企業等が公式に発行する土づくり関係技術誌等への報告文 などの執筆掲載	5 単位／件		
		3. 土づくりに関する技術図書（単行本）の執筆掲載 （単著者、共著者の場合やページ数によって単位数異なる）	10～30 単位／件		
V	業績（レポート、表彰）	1. 土づくりの実践、指導及び実証調査による作物の収量・品質改善やコスト低減成果などのレポート ・土壌診断（化学性、物理性と生物性）や生育診断による作物生育改善等の成果 ・地域の作物生育不良要因を明確にし、改善対策を実施した成果 ・地域に適合した土壌・施肥管理の指針を確立し、生育改善等を図った成果 ・土壌診断や生育診断を行う上で基準や指針として活用できる成果 ・現地実証調査による成果（排水対策、資材等の効果） ・新技術導入による実践成果（施肥方式、灌水方式等の改善） ・その他の成果（創意工夫による土づくりに関係する改善成果）	業績レポートの内容・タイプ により 5～60 単位／件	必要	
		2. 土づくり関係を含む表彰事業で受賞（表彰事業の内容によって単位数異なる）	10～30 単位／件		
		3. 土づくり文献の解析のレポート	5～10 単位／件		
		4. 土壌医の会の活動業績	3～15 単位／人		
VI	自己研鑽、その他	1. 土づくり関係雑誌の定期購読 （複数誌購読でも 1 雑誌のみが認定対象）	・土壌協会が発行する雑誌「作物生産と土づくり」 ・その他雑誌	6 単位／年 3 単位／年	必要
		2. ウェブサイト「土壌医ネットワーク」に掲載される演習問題への回答		択一問題 4 単位／回 演習問題 8 単位／回	
		3. 土づくり関係図書（報告文含む）の後読感想文		2 単位／件	
		4. 公的な機関における土づくり関係委員会等への委員就任		10 単位／回	

※CPD 認定対象プログラム内容と CPD 単位数の詳細版は「土壌医資格登録と継続研鑽要綱」をご覧ください。